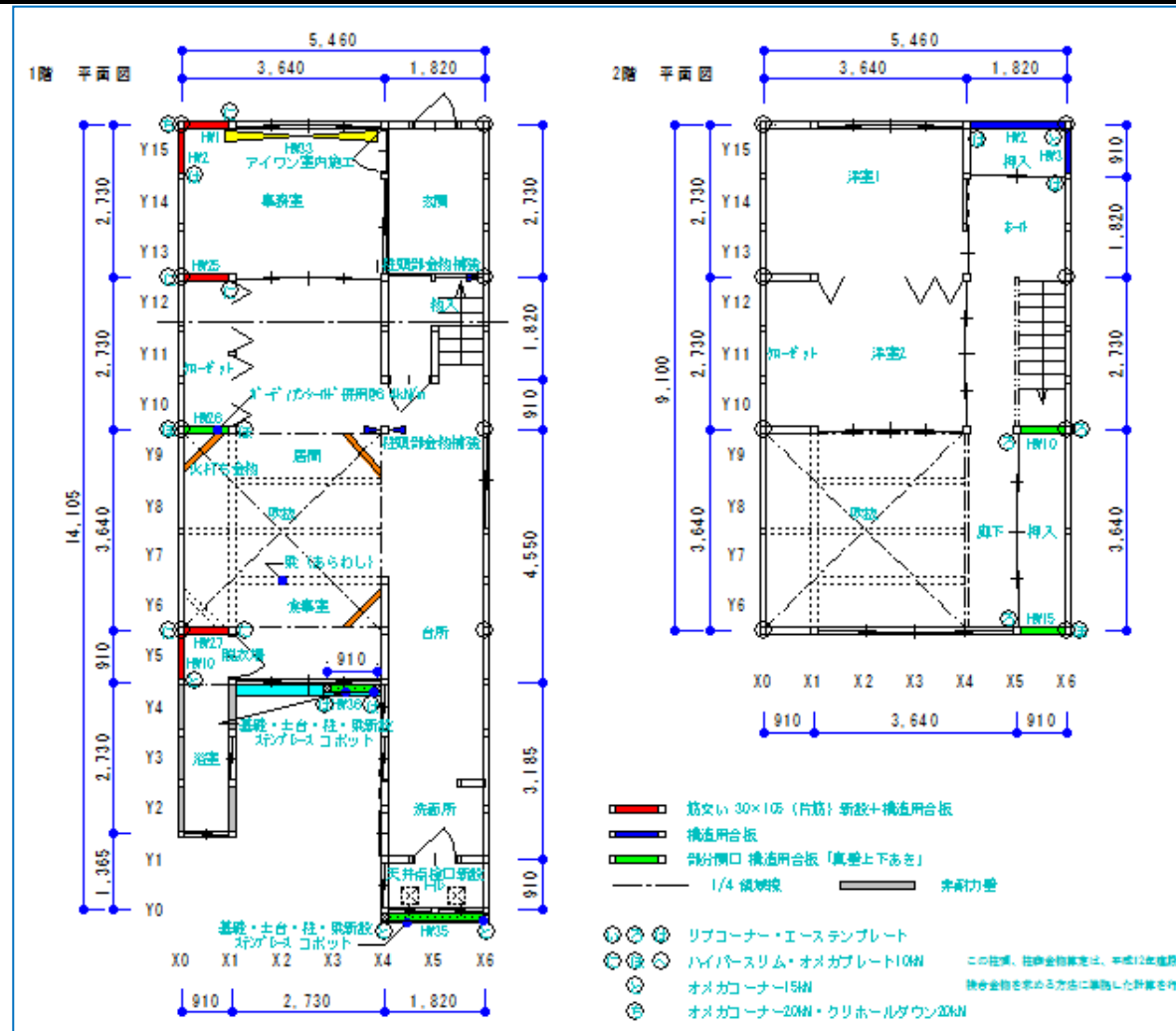


佳作  
審査員特別賞

【工法の種類】 部分開口構造用合板「真壁上下あき」  
アイワン・ガーディアンシールド・ステンブレースコボット

【応募者名】 U 建築



耐震診断値  
改修前：0.14  
改修後：0.71  
工事費：142万円  
工事期間：20日間

加せ'ット内壁補強  
中段を残し、ガーディアンシールドと真壁上下あき工法を併用  
写真左：中段上 写真右：中段下

築後76年の古い建物の改修事例です。現在は娘さん夫婦とお孫さんが居住しており、もしもの時を考えて心配されていました。いずれ建て替える事になるであろうことから、被災時に命だけを守れば…というご要望に沿って、名古屋市の段階的改修助成制度を利用し、0.7以上を目標としました。0.14という耐震診断の結果は、東西(X)方向壁量の大幅な不足と壁バランスが悪いのが主な要因です。そのため補強は短辺方向を主体とし、数少ない既設の壁の補強と新設の耐力壁の新設としました。新設では開口部をそのまま残しても補強できるブレース(アイワン・コボット)を採用し、付帯工事を極力少なくすることで、費用を安価にできるようにしています。また土壁だけが耐力要素となっている古い建物なので、ブレースの粘りも期待しています。特に工夫した点は1階加せ'ットの既設壁の補強部分で中段と天井・床はそのままに部分開口構造用合板補強「真壁上下あき」とガーディアンシールドを併用した点です。これにより加せ'ット内の解体を避けることが出来、中の荷物を殆ど残したまま補強できたので居住者に喜ばれました。

NPO 耐震化7d'バ'イ'-協議会 U 建築

【講評】

昭和12年築、評点0.14という絶望的な木造住宅を改修した事例である。142万という安さで評点0.7超を実現した点、きわめて古いにもかかわらず所有者に建替えずに改修工事を決断させた点、目標性能0.7で合意を得ている点など、改修促進に向けて手本にすべき内容が多く盛り込まれている。また、外付け工法であるアイワンをサッシュの納まりを考えてあえて室内側に設置した点など創意工夫もされており、佳作とした。